

## 乙訓福祉会の沿革

- 1978(昭和 53)年 「乙訓障害児者父母の会」の一部グループが中心となり、向日が丘養護学校卒業生らが日中活動をする拠点を確保する為、当時不用となりつつあったプレハブ校舎資材を使用して「共同作業所・乙訓の里」を向日市上植野町に開設。その後、施設用地の使用期限もあり、現在の法人本部敷地（勝竜寺長黒）南側に移転。(1982年)
- 1987(昭和 62)年 乙訓地域在住の重度障がい者が、地域で作業等をする活動拠点開設の必要性を真摯に受け止め、行政関係者並びに「共同作業所・乙訓の里」関係者を中心とした「乙訓地域重度心身障害者対策プロジェクトチーム」を発足。
- 1990(平成 2)年 「乙訓地域重度心身障害者対策プロジェクトチーム」がまとめた意見の具申を基に「共同作業所・乙訓の里」が母体となって「社会福祉法人乙訓福祉会」を設立。 【初代理事長：故 鈴木正里】  
☆10月1日：2つの通所施設が開所  
身体障害者通所授産施設「乙訓の里」  
精神薄弱者通所更生施設「乙訓学園」
- 1991(平成 3)年 乙訓福祉会後援会が発足。(10月1日) 【初代会長：故・齋藤恪二】
- 1993(平成 5)年 宿泊体験を実施するなど日中活動の時間内には実施できない「経験の場」を設けたいとして、通所施設の分場的な場所となる「コスモスの家」を長岡京市馬場に開設。ここでの取り組みが、後の福祉ホーム・グループホーム開設への礎となる。
- 1999(平成 11)年 身体障害者福祉ホーム「ハイツ竹とんぼ」を長岡京市金ヶ原に開設。夜間も含めた生活全般の支援に携わるヘルパー派遣を受けて地域生活を開始。  
\*ヘルパーは福祉ホーム開設から4年間、長岡京市の委託を受けた特定非営利活動法人「乙訓介護サービス」が派遣。入居者の生活支援全般に亘る支援にご尽力を頂いた。  
この年、本部施設用地の無償貸与期間が短縮される
- 2000(平成 12)年 創立10周年記念行事「ワッショイフェスタ」開催。(10月)  
法人主催で初のシンポジウム「地域のまんなかで」を10周年記念及び「乙訓障害者地域生活支援センター・キャンパス」開設記念の行事として共同開催。(11月)

- 2001(平成 13)年 「知的障害者グループホーム事業説明会」開催。(10月)  
2度目のシンポジウム「地域のまんなかで '01」開催。(11月)
- 2002(平成 14)年 知的障害者グループホーム「ハイツさくら」開設。(4月)  
「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」設立。(7月)  
「地域のまんなかで '02」開催。(11月)
- 2003(平成 15)年 「支援費制度」への移行を機に、通所施設の名称を「乙訓の里」から  
「障害者地域活動センター乙訓の里」、また「乙訓学園」を「障害者  
地域活動センター乙訓楽苑」に改称。一方、居宅事業では「ハイツ  
さくら」、「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」が、共に京都府より  
支援費事業該当事業所としての指定を受ける。(4月)  
乙訓介護サービスが担う「ハイツ竹とんぼ」利用者へのヘルパー派遣  
業務を、3月末より「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」が引継ぐ  
こととなる。独り暮らしの方への生活支援や知的障がいのある方への  
移動支援も開始。  
「乙訓福祉会ホームページ」開設。  
「地域のまんなかで 2003」開催。(11月)  
土地問題検討委員会発足。
- 2004(平成 16)年 知的障害者グループホーム「ハイツまんてん」が長岡京市奥海印寺に  
開設。(4月)  
「チャリティー絵画展」を開催。チャールズ・チャン画伯来所。  
「乙訓福祉会 居宅介護従事者養成研修事業」を開講。  
本部施設用地無償貸与期間満了後に所有者への用地返還が決まる。
- 2005(平成 17)年 「地域のまんなかで・5」開催。(3月)  
乙訓福祉会本部移転に関する「公開報告会」を開催。(7月)  
創立 15 周年記念行事「ワッショイフェスタ 2005」を開催。(9月)
- 2006(平成 18)年 「地域のまんなかで・6」開催。(3月)  
障害者自立支援法の施行に伴い「障害者地域活動センター乙訓の里」は  
生活介護事業所。「ハイツさくら」、「ハイツまんてん」は、経過的居宅介  
護利用型共同生活介護事業所に移行。また「乙訓福祉会・ライフサポー  
ト事業所居宅介護等運営部門」は、居宅介護・重度訪問介護・行動援護  
の指定を受ける。「乙訓福祉会・ライフサポート事業所指定相談支援室  
運営部門」も相談支援事業の指定をそれぞれ受ける。(10月)
- 2007(平成 19)年 「障害者地域活動センター乙訓楽苑」が生活介護事業所に移行。  
「ハイツ竹とんぼ」は長岡京市地域生活支援事業の指定を受ける。  
「地域のまんなかで・7」開催。  
映画『ありがとうー「奈緒ちゃん」自立への 25 年』上映。(3月)

- 2008(平成 20)年 「地域のまんなかで・8」開催。(3月)  
「ふれあいコンサートの集い」《中国笛とテノールの歌声》開催。  
全盲の歌手：楊雪元氏来所。(5月)
- 2009(平成 21)年 「ハイツまんてん」長岡京市下海印寺に移転。(4月)  
「地域のまんなかで・9」開催。(7月)  
障害者ヘルプの充実を目的とし、乙訓圏域自立支援協議会との共催で  
「ホームヘルパー養成研修二級課程講座」を開講。
- 2010(平成 22)年 「ハイツまんてん」の一階部分(女性専用フロア)を開所し、共同生活  
介護事業所の指定を受ける。(2月)  
将来構想検討委員会設置。(4月)  
「乙訓福祉会創立20周年記念感謝祭」開催。(10月)
- 2011(平成 23)年 職員による将来構想整備計画プロジェクトチーム設置。(4月)  
創立記念行事「作品展」開催。(法人利用者の創った日常の世界を「作品」  
として一般に初めて公開する展示会)(11月)
- 2012(平成 24)年 「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」事務所及び相談支援室開設第1期  
工事を行い、事務部門の一部を長岡京市今里に移す。(8月)  
将来構想整備計画プロジェクトチームにより『ふた葉プラン』を策定。  
今後の移転計画を含めた事業構想を提示。(9月)  
2012年4月より制度化された「介護職員等による喀痰吸引等」の実施  
に伴い、必要なケアを安全に提供する介護職員等の養成研修「介護職員  
等への喀痰吸引等研修(第3号研修)」を開講。乙訓圏域障害者自立支援  
協議会「医療的ケア委員会」や乙訓地域の関係機関とともに協力開催。  
(10月)  
「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」の第2期工事を行い、車いす等  
多様な用途に対応するトイレ及び障害児通所支援事業を実施するフロア  
整備を行う。(3月)
- 2013(平成 25)年 「障害者総合支援法」施行。(4月)  
乙訓福祉会・ライフサポート事業所今里事務所で、相談支援室の業務が  
本格的に始動。  
障害児通所支援事業「放課後等デイサービス事業所ぱぐ」を今里事務所  
1階フロアで開所。(6月)  
「障害者地域活動センター乙訓の里」の移転先用地を長岡京市下海印寺  
川向井に取得。  
乙訓楽苑移転に向けた事業検討(プロジェクト)会議開始。(9月)
- 2014(平成 26)年 国庫補助金交付の内示を受け、乙訓の里建設諸準備進む。(8月)  
乙訓の里新築工事地鎮祭・起工式開催。建設工事開始。(9月)

- 2015(平成 27)年 「障害者地域活動センター乙訓の里」、「障害者地域活動センター乙訓楽苑」の名称を「乙訓の里」と「乙訓楽苑」に改称。(4 月)  
「乙訓の里」新施設建設が完了、竣工式開催。(5 月)  
「乙訓の里」利用者が新天地での開所式に臨む。(6 月)
- 2016(平成 28)年 乙訓の里開所 1 周年記念「私たちの作品展」開催。(6 月)  
「感謝祭」開催。(10 月)
- 2017(平成 29)年 きょうと福祉人材育成認証事業所として承認を受ける。(10 月)  
「感謝祭」開催。
- 2018(平成 30)年 「作品展」(利用者、家族、地域の方、ボランティアが制作した品々の  
展覧会)開催。(1 月)  
「憩いスポット」開催。(地域の方が暑い夏を施設内で涼む場の提供)  
(8 月)
- 2020(令和 2)年 「作品展」開催。(2 月)  
乙訓福祉会創立 30 周年を迎える。(10 月)  
乙訓楽苑移転に向けて「設立(準備)委員会」《職員と設計業者》を組織。  
乙訓楽苑新施設の設計打ち合わせ開始。  
京都府乙訓市町会出席。乙訓楽苑移転に係る進捗状況の報告等。(11 月)
- 2021 年(令和 3)年 京都府乙訓市町会出席。乙訓楽苑移転時期等の確認。(9 月)

